

## 別紙 1

(福岡コンベンションセンター)

## コンベンションセンターの3施設の利用状況推移

## 1. 催事の推移

区分	マリンメッセ福岡			福岡国際センター			福岡国際会議場			
	件数	利用日数	利用率(※1)	件数	利用日数	利用率(※1)	件数	利用室数	利用率(※1)	
平成23年度	84	274	81.5%	89	296	88.1%	1,073	5,458	67.7%	
平成24年度	90	278	<b>83.0%</b>	90	291	<b>86.9%</b>	1,076	5,685	<b>70.7%</b>	
平成25年度	87	303	<b>90.4%</b>	91	287	<b>85.7%</b>	1,131	5,280	<b>65.7%</b>	
平成26年度 (※2)	目標利用率	83	271	81.0%	83	271	81.0%	1,099	5,628	70.0%
	4-6月実績	21	76	<b>89.4%</b>	26	81	<b>95.3%</b>	256	1,479	<b>72.5%</b>

## ※1 利用率について

## ①マリンメッセ福岡・福岡国際センター

日数 $\wedge$ -入(利用日数/利用可能日)(※利用可能日=年末年始の休館日, 保守点検日等を引いた日数)

## ②福岡国際会議場

利用室数 $\wedge$ -入(利用室数/利用可能延室数)(※利用可能日 $\times$ 室数)

## ※2 平成26年度について

目標利用率は定期点検・保守等やイベントの撤去・設営等を行うための休館日を確保できる数値を設定している。

4-6月実績は速報値

## 2. 入場者数の推移

(単位:千人)

区分	マリンメッセ福岡	福岡国際センター	福岡国際会議場	合計入場者数
平成23年度	1,270	537	387	2,194
平成24年度	1,083	440	370	1,893
平成25年度	1,257	490	453	2,200

## コンベンションセンターの修繕等積立資産について

### 1 目的

福岡国際センター及び福岡国際会議場については、年数経過に伴い、建物付帯設備や機械設備等の老朽化が進んでいるが、これからも利用者が施設を快適に利用できるよう、計画的に修繕等を行っていくためには、財源の確保が必要である。

このため、平成 20 年度に修繕等積立資産を設け、財源の確保に努めるとともに、適切な施設管理を行うため、平成 22 年度に福岡国際会議場、平成 23 年度に福岡国際センターの中長期保全計画を策定し、計画的な修繕に努めている。

### 2 修繕等積立資産の増減の推移

(単位：百万円)

区 分	H23 度	H24 度			H25 度				
	残高	減少	増加	計	残高	減少	増加	計	残高
修繕等積立資産	1,245	△ 29	470	441	1,686	△ 101	698	597	2,283

### 3 施設毎の積立資産額 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位：百万円)

区分	福岡国際センター	福岡国際会議場	計
修繕等積立資産	332	1,951	2,283

### 参考 中長期保全計画 (平成 23 年 3 月及び 6 月策定) における今後 10 年間の支出見込み

(単位：百万円)

区分	H26 度	H27 度	H28 度	H29 度	H30 度	H31 度	H32 度	H33 度	H34 度	H35 度	合計
国際センター	52	8	17	13	13	77	70	21	90	2,875	3,236
国際会議場	225	345	203	311	276	317	270	227	220	466	2,860
計	277	353	220	324	289	394	340	248	310	3,341	6,096